

「笑顔いっぱい、思い出に残る」修学旅行に！

令和2年度の修学旅行を実施するにあたって、コロナ禍の影響のため、実施時期を5月から6月へ、6月から9月へ、そして9月から10月へと、3回延期しました。また、方面も、医療体制がひっ迫し空路という不安がある沖縄から、陸路の広島へと変更しました。皆さん、一生懸命、平和学習に取り組んできた成果を活かせる場所へとの、3年生の先生方の思いからです。3年生になれば、当たり前のように行けると思っていた修学旅行が、実は当たり前ではなかったことを実感しました。様々な不安を抱いていた私は、「今、修学旅行に行ける喜び」を素直に感じています。だからこそ、皆さんにも教職員にも、感染症対策を徹底して守ってもらいたいと思います。そのことができて初めて、「笑顔いっぱい、思い出に残る」修学旅行になります。この3日間、くれぐれもそのことを忘れないでください。皆さん全員が体調を崩さず、安全・安心に帰って来れて「当たり前」という気持ちで、修学旅行に臨みたいと思います。

さて、1日目は広島平和記念資料館へ行きます。本館では被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や絵などの資料を見て、1945年（昭和20年）8月6日に広島で何が起ったのかを知ることができます。東館では核兵器の危険性や被爆前後の広島の歴史について学ぶことができるほか、被爆者証言ビデオを自由に視聴できるコーナーもあります。平和の尊さを、目で見て、頭で理解して、心で感じ取ってほしいと思います。

また、2日目は一般に「安芸の宮島」とも呼ばれ、日本三景の1つに数えられる厳島神社などを自由散策します。平安時代末期、平清盛によって海上に立つ大規模な社殿が整えられました。干潮時には、大鳥居のところまで歩いて行けます。今から約900年前に建てられた社殿を見ながら、その時代に思いを馳せてみてください。

最終日、3日目は姫路セントラルパークへ行きます。旅の最後を遊園地・サファリパークで満喫する予定です。いろいろなアトラクションがありますので、すいているところをねらって楽しんでください。

最後にもう一度、確認します。感染症対策や集団行動でのルール・マナーを守って、病気をしない、怪我をしない、事故に遭わないように努め、「笑顔いっぱい、思い出に残る修学旅行」にしていきましょう。

京都市立洛西中学校
校長 高垣 明夫